

かながわ水源環境保全・再生の 取組の現状と課題

—水源環境保全税による特別対策事業の点検結果報告書—

(平成22年度実績版)

平成24年3月

水源環境保全・再生かながわ県民会議

目 次

はじめに	0 - 3
点検結果の見方	0 - 4

各事業の点検結果

1 水源の森林づくり事業の推進	1 - 1
2 丹沢大山の保全・再生対策	2 - 1
3 溪畔林整備事業	3 - 1
4 間伐材の搬出促進	4 - 1
5 地域水源林整備の支援	5 - 1
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	6 - 1
7 地下水保全対策の推進	7 - 1
8 県内ダム集水域における公共下水道の整備促進	8 - 1
9 県内ダム集水域における合併処理浄化槽の整備促進	9 - 1
10 相模川水系流域環境共同調査の実施	10 - 1
11 水環境モニタリング調査の実施	11 - 1
12 県民参加による水源環境保全・再生のための新たな仕組みづくり	12 - 1
○ 12の特別対策事業の総括（まとめ）	13 - 1
○ 第9回～第12回県民フォーラム意見報告書（概要）	13 - 7

付表・図

・ 水源環境保全・再生事業の対象地域図	14 - 1
・ 平成19～22年度 市町村別事業実績一覧（市町村事業）	14 - 2
・ 水源環境保全・再生かながわ県民会議名簿	14 - 6

水源環境保全・再生かながわ県民会議の仕組み

県民の意見を施策に反映

水源環境保全・再生かながわ県民会議

- 【役割】 施策評価・市民事業等支援・県民への情報提供
【構成】 ①有識者(10名)－専門的視点からの意見
②関係団体(10名)－施策連携等の視点からの意見
③公募委員(10名)－県民の視点からの意見

報告

専門家による特定課題の検討
(専門委員会)

市民事業専門委員会

- 【役割】 市民事業等支援制度の検討
【構成】 市民活動等の有識者及び関係団体

施策調査専門委員会

- 【役割】 施策評価及びモニタリング方法の検討
【構成】 森林、水、環境政策等の有識者

連携

県民視点による広報・広聴の取組

県民フォーラムの企画運営

- 【役割】 幅広い県民の意見収集及び情報提供
【構成】 公募委員を中心に地域ごとに編成

コミュニケーションチーム

- 【役割】 県民への分かりやすい情報提供方法の検討
【構成】 公募委員

事業モニターチーム

- 【役割】 施策事業のモニター
【構成】 公募委員を中心に設置

参加・意見表明

県民（個人・NPO・事業者等）

県民への
情報提供

はじめに

1 点検結果報告書作成の経緯・趣旨

(1) 県民会議の役割

「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」）は、水源環境保全税を財源に行う施策に県民意見を反映させるために県が設置した組織。

一般県民・学識者など30名からなり、「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」（以下「5か年計画」）に位置付けられている12の特別対策事業について、実施状況を点検・評価し、その結果を県民に分かりやすく情報提供する役割を担っている。

《所掌事項》

- 水源環境保全・再生施策の評価及び推進に関すること。
- 水源環境保全・再生施策の県民への情報提供に関すること。

(2) 経緯・趣旨

第1期の県民会議委員（任期：平成19～20年度）は、平成21年3月に当該期間を総括する趣旨で、各特別対策事業とその最終目標である「良質な水の安定的確保」という効果を評価する道筋を「各事業の評価の流れ図（構造図）」として整理して、平成19年度の事業実績を中心に点検結果報告書（以下「19年度実績版」）を作成した。

また、第2期の県民会議委員（任期：平成21～23年度）は、平成22年2月に、20年度の事業実績の更新を中心に中間の報告書（以下「20年度実績版」）を、平成22年12月に、21年度の事業実績の更新を中心に中間の報告書（以下「21年度実績版」）を作成した。

2 今回の点検結果報告書（平成22年度実績版）の作成方針

今回の点検結果報告書は、前回の21年度実績版と同様に、第2期の県民会議委員の任期（平成21～23年度）の途中であるため、22年度の事業実績の更新を中心に、中間の報告書として作成する。

(1) 平成22年度の事業実施状況等の記載

平成22年度の事業実施状況、進捗状況、予算執行状況等を記載する。

(2) 平成22年度の事業に係るモニタリング調査等の記載

平成22年度の事業に係るモニタリング調査実施状況、モニタリング調査結果を記載する。

(3) 事業モニター結果の記載

平成22年度中に事業モニターは、特別対策事業（直接的な効果が見込まれる9事業）を対象に4回実施された。その結果をニュースレター「しづくちゃん便り」から記載する。

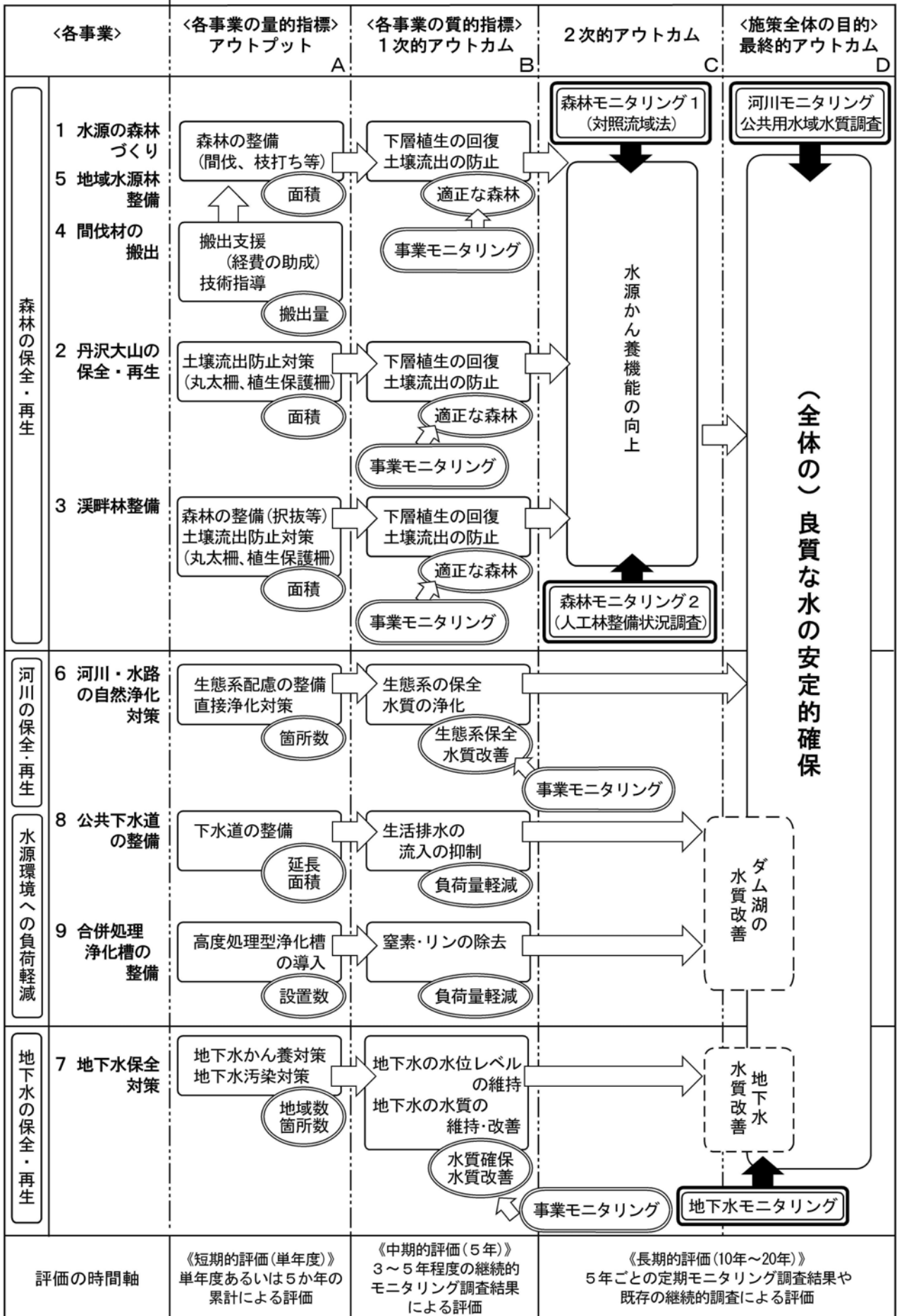
(4) 県民フォーラム意見の記載

平成22年度中に県民フォーラムは、4回実施された。その意見を「第9回・第10回・第11回・第12回県民フォーラム意見報告書」から記載する。

(5) 総括（評価）

上記の①事業進捗状況、②モニタリング調査結果、③事業モニター結果、④県民フォーラム意見の4つの視点から評価を行い、総括コメントを作成し、点検する。

■各事業の評価の流れ図（構造図）



■ 点検結果の見方

5か年計画に位置付けられている12の特別対策事業ごとに、次の1～11の項目を共通事項として記述した。

1 ねらい／ 2 目標／ 3 事業内容／ 4 事業費

5か年計画の各事業の「ねらい」～「事業費」を転記した。

5 事業実施状況

整備量など事業量の数値目標のあるものは、事業量の実績を、数値目標のないものは、事業内容を記載した。

記載数字はすべて平成19～22年度の実績とした。

6 5か年計画進捗状況

整備量などの数値目標のある事業についてのみ、「5か年計画の目標」、「平成19～22年度の実績」、「平成23年度の計画」を記載し、「目標に対する進捗状況」を帯グラフとして示した。

また、特異な状況を示すものは、その原因等の説明を記載した。

7 予算執行状況

「5か年計画における5年間の事業費の新規必要額」、「平成19～22年度の予算執行実績額」、「平成23年度の予算額」を記載し、「5年間の計画必要額に対する予算執行状況」を帯グラフとして示した。

また、特異な状況を示すものは、その原因等の説明を記載した。

8 事業進捗状況から見た評価

整備量などの数値目標のある事業について、平成19～22年度の事業量の実績に基づき、県の総合計画「神奈川力構想」の「戦略プロジェクトの取組み状況の算出方法」を参考にした評価基準等に基づき、A～Dの4つのランクで評価した。

A～Dの4つのランク：各事業における「事業進捗状況から見た評価」の基準

※ 次の基準に基づき、A、B、C、Dの4つのランクで評価する。		
(1) 年度ごとの数値目標を設定している事業 (4①、5④)	平成22年度の実績（累計）	ランク
	4年間の目標の100%以上	A
	4年間の目標の80%以上100%未満	B
	4年間の目標の60%以上80%未満	C
(2) 5年間（平成19～23年度）の数値目標を設定している事業（1①②、5①②③、6①②、8、9①②）	平成22年度の実績（累計）	ランク
	目標の80%以上	A
	目標の64%以上80%未満	B
	目標の48%以上64%未満	C
	目標の48%未満	D

(3) 4年間(平成20～23年度)の数値目標を設定している事業(2①、3②③④)	平成22年度の実績(累計)	ランク
	目標の75%以上	A
	目標の60%以上75%未満	B
	目標の45%以上60%未満	C
(4) 数値目標の設定がない事業(2②③、3①、4②、7①②③④、10、11、12)		
A、B、C、Dの4つのランクでの評価はしない。		
(事業の進捗率によって評価できない上記項目については、実施の有無で評価する。)		

9 事業に係るモニタリング調査実施状況

各事業の「ねらい」の実現状況を把握するための質的な指標を記載し、その達成度を見るためのモニタリング調査を記載した。

個別事業においてモニタリング調査を行っている場合は、その方法、結果を記載し、行っていないものは考え方を示した。

また、モニタリング調査方法等について意見のあるものは記載した。

10 事業に係るモニタリング調査結果

実施したモニタリング調査結果を記載した。

11 県民会議 事業モニター結果

平成22年度中に事業モニターは、特別対策事業(直接的な効果が見込まれる9事業)を対象に4回実施された。その結果をニュースレター「しずくちゃん便り」から記載した。

12 県民フォーラムにおける県民意見

平成22年度中に県民フォーラムは、4回実施された。その意見を「第9回・第10回・第11回・第12回県民フォーラム意見報告書」(平成23年5月県に提出)の中から「意見の概要」として整理されたものを記載した。

13 総括

上記の点検結果を踏まえて、各事業の総括コメントを記載した。

各事業の点検結果